

表面保護テープ	DD-150-01
IVY 2920	2011.04.14

製品安全データシート

【1】 製造者情報

会社名； 大協技研工業株式会社
 住所； 神奈川県座間市栗原 9 2 0 - 3
 担当部門； 管理部 品質保証課
 担当者（作成者）； 嶋田 賢治
 電話番号； 0 4 6 - 2 5 2 - 9 3 1 1
 F A X 番号； 0 4 6 - 2 5 2 - 9 3 2 2
 緊急連絡先； 担当部門と同じ
 作成日； 2011 年 4 月 14 日

【2】 整理番号 DD 150

【3】 製品名（化学名、商品名 等）

表面保護テープ IVY 2920

【4】 物質の特定（登録、規制 等）

単一製品・混合物の区別；混合物

化学品；

成分及び含有量；

基材：	低密度ポリエチレン	9.6 Wt%
粘着剤：	アクリル酸エステル共重合体	3.5 Wt%
	添加剤 / 溶剤	0.5 Wt%以下

化学式又は構造式；

化審法 既存化学物質登録 ； ポリエチレン 【6-1】

化管法 指定化学物質； 非含有

安衛法官報公示整理番号； 対象外

C A S No .；

ポリエチレン	9 0 0 2 - 8 8 - 4
アクリル酸エステル共重合体	3 5 2 3 9 - 1 9 - 1

国連分類及び国連番号；

表面保護テープ	DD-150-01
IVY 2920	2011.04.14

【5】 危険有害性の分類

分類の名称； 分類基準に該当しない。
 危険性； 可燃性個体であり消防法指定可燃物にあたる。
 有害性； 認められない。
 環境影響； データなし。

【6】 応急措置

目に入った場合； 通常は可能性なし。目に入った場合は清浄な流水で目を洗淨し、直ちに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合； ゆっくりと剥がし、皮膚に刺激を感じた場合は直ちに医師の診断を受ける。
 吸入した場合； 吸入の可能性なし。
 飲み込んだ場合； 嘔吐させた後、直ちに医師の診断を受ける。

【7】 火災時の措置

消火方法； 一般的な消火方法による。
 消火剤； 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、等

【8】 漏出時の措置

該当しない。(ロール状の固体のため漏出しない。)

【9】 取扱い及び保管上の注意

取扱い； 一般的な可燃物の取扱いによるが、製品の品質を保つ為、過度な衝撃、積み重ねは避けること。
 保管； 一般的な可燃物の保管によるが、製品の品質を保つ為、保管条件は常温常湿とし、直射日光や結露は避けること。

【10】 暴露防止装置

管理濃度； 設定されていない。
 許容濃度； 日本産業衛生学会（ 年度版）： 規定されていない。
 設備対策； ACIGH（ 年度版）： 規定されていない。
 保護具 呼吸用保護具； 特に必要なし。
 保護眼鏡； 特に必要なし。
 保護手袋； 特に必要なし。
 保護衣； 特に必要なし。

表面保護テープ	DD-150-01
IVY 2920	2011.04.14

【1 1】物理 / 化学的性質

外観等； ロール状粘着テープ
 沸点； 蒸気圧； 揮発性；
 融点； 90～145 比重； 0.88～0.95 初留点；
 溶解度； 水に不溶 その他；

【1 2】危険性情報 (安定性・反応性)

引火点； 200 以上 発火点； 340 以上 爆発限界 上限： 下限：
 可燃性；あり
 発火性（自然発火性、水との反応性）；特になし。
 酸化性；なし
 自己反応性・爆発性；なし
 安定性・反応性；一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

【1 3】有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性；特になし
 刺激性（皮膚、目）；長時間皮膚に貼り付けた状態していると、個人差はありますがかぶれる恐れがあります。
 感作性；知見なし
 急性毒性（50%致死量等を含む）；知見なし
 亜急性毒性；知見なし
 慢性毒性；知見なし
 がん原性；知見なし
 変異原性（微生物、染色体異常）；知見なし
 生殖毒性；知見なし
 催奇形性；知見なし
 その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）；知見なし

【1 4】環境影響情報

移動性； 知見なし
 残留性 / 分解性； 知見なし
 生体蓄積性； 知見なし
 生態毒性； 知見なし

表面保護テープ	DD-150-01
IVY 2920	2011.04.14

【15】 廃棄上の注意

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、公認の産業廃棄物処理業者または自治体に処理を委託する。

【16】 輸送上の注意

転倒、落下、損傷、汚れ等がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

【17】 適用法令

消防法 指定可燃物（合成樹脂類）

記載内容の取り扱い

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取扱って下さい。

以上